

ぐるり30

～自治調査会だより～

2016
1

NO.028

[発行日]
2016.1.1



【写真提供・撮影場所】 京王百草園（最終ページでご紹介しています!）

▶ 多摩交流センターだより

- ・第19回多摩の歴史講座 終了報告…………… 2
- ・多摩発・遠隔生涯学習講座1・2月開催予定の講座案内…………… 3
- ・東京雑学大学2月講義案内…………… 3
- ・広域的市民ネットワーク活動助成事業紹介…………… 4
- 第9回北多摩合同演奏会
- ・TAMA市民塾20周年記念事業が開催されました…………… 4

▶ オール東京62市区町村共同事業

- みどり東京・温暖化防止プロジェクト市町村助成事業紹介…………… 5
- ・東村山市 太陽光発電システム設置工事費補助金事業
- ・国分寺市 温暖化防止啓発事業
- ・新島村 新島村LED化事業

▶ 平成26年度 調査研究報告書の紹介

- 「島しょ地域における自治体の定住促進に関する調査研究報告書」… 6
- ▶ 調査研究報告書の活用に関するアンケート調査結果報告…………… 7
- ▶ 編集後記…………… 7
- ▶ とっておきスポット～“ココ”ご存じですか?～日野市…………… 8

Contents

1月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会



多摩交流センターだより

第19回 多摩の歴史講座 終了報告

本紙8月号 (No.23) で募集した「第19回 多摩の歴史講座」(東京市町村自治調査会・たましん地域文化財団共催)は、平成27年9月25日から11月20日にかけて隔週金曜日に全5回の講座を開催し、40歳代から80歳代の100名近くの受講生の皆様にご参加をいただきました。

この講座は、歴史と文化の宝庫である多摩地域にスポットをあてた連続講座で、本年度は「多摩の縄文人とくらし—台地、川、海とのかかわりあい—」をテーマに第1講から第4講は国分寺労政会館で講義を、第5講は東京都立埋蔵文化財調査センターで講義及び見学会を開催しました。



▲毎回、充実した講座でした。

第1講

(9月25日)

「戦後の縄文時代研究で明らかになった縄文人の生活と美」では、元日本遺跡学会会長の石井則孝氏にご登壇いただき、縄文時代の住居、土器・石器等の考証や武蔵野台地の拠点集落であった扇山遺跡(石神井公園)、下野谷遺跡(西東京市)、三鷹市立第五中学校遺跡(三鷹市)の特徴など今回のテーマ「多摩の縄文人とくらし」にかかる総論的な講義をいただきました。

第2講

(10月9日)

「下総台地の貝塚にみる武蔵野との交流」では、千葉市立加曽利貝塚博物館館長の堀越正行氏から、出土石器石材の推定産地により多摩川の石材が下総台地に多く出土し、縄文時代に武蔵野との交流が盛んであったことや、物々交換の交流だけでなく贈り物交換と考えられる交流の話など、専門的な解説を交えたお話を聞くことができました。

第3講

(10月23日)

「自然人類学からみた原始・古代の関東の人々」では、新潟県立看護大学准教授の藤田尚氏より、発掘された古人骨から原始・古代の人々はどのような人で、どこから来たと考えられるか、また、歯や骨に残った病気の痕から彼らが生き抜いた生活環境や食性などにスポットをあて詳しく解説していただきました。

第4講

(11月6日)

「縄文人たちは『野川』をどう感じ、どう暮らしたか—遺跡・土器のくたちから考える・入門—」では、三鷹市教育委員会の高麗正氏より、多摩川水系のひとつ野川縁にくらした縄文人がどのように野川を利用していたか、また、縄文土器の文様やくたちから当時の文化を考える講義をいただきました。

第5講

(11月20日)

東京都埋蔵文化財センター共同事業「モノ・人の動きから多摩・武蔵野の縄文時代を眺める—西東京市下野谷遺跡、多摩ニュータウンNo.72遺跡を基点として—」では、東京都埋蔵文化財センター調査研究部の山本孝司氏より、多摩ニュータウン開発事業区域内から発見された「No.72遺跡」と国の指定遺跡である「下野谷遺跡」を中心に大規模集落(拠点集落)の変遷、中部地方と関東西南部(武蔵野・多摩)におけるモノの流通などについて、本講座のまとめにふさわしい講義をいただきました。

また、講義終了後は、調査研究部スタッフの解説を受けながら、展示ホールにて多摩ニュータウン遺跡から出土したヒスイや土器などを見学しました。さらに、クヌギやコナラなどを植栽して当時の森を再現した遺跡庭園「縄文の村」では、復元された前期、中期の竪穴住居などを見学しました。縄文時代の景観やくらしを体感することができた見学会でした。



▲見学会「展示ホール内」



▲見学会「遺跡庭園内の竪穴住居」

今回の歴史講座でご講義いただきました講師の先生、参加されました受講生の皆様に厚くお礼申し上げます。次回も皆様の興味・関心を深めることができる講座を企画しますのでご期待ください。

インターネット
放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催
後援：武蔵野市教育委員会

平成28年1・2月開催予定の講座案内

143回

日時 平成28年1月14日(木) 14:30から約1時間
題名 候文あれこれ
講師 愛甲 次郎 氏 (NPO法人「文語の苑」理事長・元資源エネルギー庁次長・元在クウェート大使等)
内容 候文は古来、書簡体として我国のコミュニケーションを支えてきた文章のスタイルであり、欧米語における接続法に似た役割を果たし、いわば昔のビジネスマンといった面もある。昨今、日本語の劣化が指摘され、その対策が必要になってきている

が、候文の復活は選択肢の一つであろう。候文とは何か、分かり易く解説する。



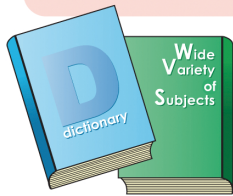
144回

日時 平成28年2月11日(木・祝) 14:30から約1時間
題名 声楽の魅力
講師 田中 和夫 氏 (歌手・元防衛大学校教授)

- 受講料 無料(ただし資料代100円)
- メイン会場 多摩交流センター 第2会議室(申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)
- サテライト会場 武蔵野市かたらいの道
- ライブ中継・VOD視聴について

多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

問合せ先: TEL 070-2648-3520(高原) TEL 0422-52-0908(菅原)



特定非営利活動法人

東京雑学大学

平成28年2月講義案内

(会員は受講料無料・会員外は2月11日を除き、1回につき500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第1024回	2月4日(木) 14:00から	忠臣蔵の真相～義士の最期	吉田 豊 氏 (古文書インストラクター)	コール田無 (西武新宿線田無駅北口 徒歩7分)
第1025回 ※	2月11日(木・祝) 14:30から	声楽の魅力	田中 和夫 氏 (歌手・元防衛大学校教授)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 徒歩3分)
第1026回	2月18日(木) 14:00から	家庭における父親の役割	小俣 富雄 氏 (公社)スコール家庭教育振興協会理事・事務局長	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第1027回	2月25日(木) 14:00から	大河紀行―荒川 ～秩父山地の水源から東京湾まで 180余キロ踏破記録	伊佐 九三四郎 氏 (登山家・紀行作家)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)

☆申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。

※第1025回は、第144回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。

[問合せ先] TEL 042-465-3741(浅田) TEL 0422-52-0908(菅原)

広域的市民ネットワーク活動助成事業紹介

第9回北多摩合同演奏会

日時 平成28年1月24日(日) 開場14:00 開演14:30

会場 まろにえホール(東久留米市立生涯学習センター)

西武池袋線東久留米駅西口から、

・徒歩15分

・西武バス「錦城高校経由武蔵小金井行き」に乗車、「中央図書館」下車(徒歩1分)

・西武バス「前沢宿経由武蔵小金井行き」または「滝山営業所行き」に乗車、

「中央図書館入口」下車(徒歩5分)

内容 東京都北多摩地域(5市)で活動するアマチュアの音楽団体が一堂に会し、年に1回開催している演奏会です。当地域の音楽団体の交流の場であり、また、演奏会の名称は変わりましたが、身近な音楽に親しめる演奏会として20年以上地域から親しまれています。小学生から社会人までの幅広い年齢層の参加者による吹奏楽、ビッグバンド、弦楽アンサンブルの演奏をどうぞお楽しみください。

入場料 無料

主催 北多摩合同演奏会実行委員会

問合せ TEL 090-6168-1885(井上)



TAMA市民塾20周年記念事業が開催されました

本紙9月号(No.24)でご案内したTAMA市民塾創立20周年記念事業「知縁コミュニティ・フェスタ」が、平成27年10月17日(土)に多摩交流センター及び府中グリーンプラザを会場に開催されました。

当日は、TAMA市民塾の講座から活動を継続している42団体の方々が事前準備や練習を重ね、舞台発表や作品の展示、ワークショップの開催と、趣向を凝らした企画で日頃の活動の成果を披露していました。中には複数の団体に所属し、会場をあちこち飛び回っている方もいました。また、多くの方々がご自身の団体以外の活動にも興味を持たれ、舞台発表を見守ったり、力作が展示されているホールを熱心に鑑賞していました。

舞台発表の休憩時間には、創立20周年を記念したレセプションが催され、TAMA市民塾の講師を務められた方のうち特に功績のあった10名の方に対する表彰式が行われました。

当日、TAMA市民塾の10～20年間の活動をまとめた記念誌が発行され、関係者各位に配られました。



▲府中グリーンプラザ『展示ホール』の様子



▲表彰された講師の方々とTAMA市民塾塾長



▲TAMA市民塾20周年記念誌

「多摩交流センターだより」の問合せ先

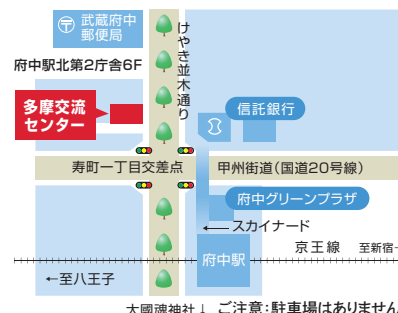
(公財) 東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/> (当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



大國魂神社 ↓ ご注意: 駐車場はありません。



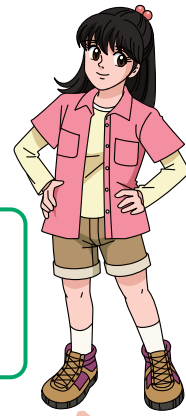
オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村助成事業紹介

「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」では、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。今月も、多摩・島しょ地域自治体の助成金活用事業を紹介し
ます。

かれん



かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

シーナ



① 東村山市

太陽光発電システム設置工事費補助金事業

Tama

東村山市

東村山市では、平成18年度より地球温暖化防止及び環境への負荷軽減を目的とした取組の一つとして、「住宅用太陽光発電システム設置工事費補助金事業」を実施しています。

新築・改築を問わず、多くの市民の方に、住宅用太陽光発電システムを導入する際の一部補助を実施することによって、地球温暖化の一因である二酸化炭素などの温室効果ガスを削減し、低炭素まちづくりの推進に務めています。

【問合せ先】東村山市環境・住宅課 TEL:042-393-5111



② 国分寺市

温暖化防止啓発事業

Tama

国分寺市

国分寺市では、市民の皆さんが参加する懇談会「環境ひろば」と一緒に国分寺まつり(11月1日)、環境まつり(12月6日)のイベントの際に、環境に関する啓発パネルの展示、省エネアンケート、子どもクイズ、パンフレットの配布など啓発活動を行っています。写真は国分寺まつりでの啓発活動の様子です。また、2月には環境シンポジウムを開催し、市民の皆さんと一緒に環境問題を考える機会を創出しています。今年度は、平成28年2月6日(土)国分寺Lホールで「(仮)武蔵野の動植物」をテーマに講演会を開催します。ご来場をお待ちしています。

【問合せ先】国分寺市環境計画課 TEL:042-328-2192



③ 新島村

新島村LED化事業

新島村

Islands

本事業は村施設をLED化することにより、村内の省エネに寄与するとともに、住民のエコロジーを推進することを目的とする事業です。

今年度は、役場庁舎を対象とし、一部を除きLED化を行いました。

当村は現在、国のNEDO事業への協力を行っており、再生可能エネルギーの推進及びエコ推進の機運が向上しつつあります。本助成金により、まずは村が率先して村施設を省エネ化することで、村全体でのLED照明などの環境に配慮した省エネルギー機器等の使用普及を推進していきます。

【問合せ先】新島村企画調整室 TEL:04992-5-0204



平成26年度 調査研究報告書の紹介

本紙5月号(No.20)で概要を紹介した平成26年度の調査報告書のうち、5件の単年度調査研究報告書について、隔月で詳細を紹介しています。今月号では、「島しょ地域における自治体の定住促進に関する調査研究報告書」を紹介します。本報告書は、当調査会ホームページ(<http://www.tama-100.or.jp/>)からダウンロードできます。

島しょ地域における自治体の定住促進に関する調査研究報告書

1 背景・目的

東京島しょ地域の人口は平成17年をピークに減少を続け、また少子高齢化が全国平均を上回る速度で進展しており、定住促進策が必要な状況となっています。

本調査研究は、全国の過疎地域や島しょ部など類似自治体における支援策や課題などについて調査し、今後の島しょ地域における定住促進策の考え方を示すことを目的として実施しました。



2 島しょ地域の定住促進に関する現状と課題

- ・全国の類似自治体の約7割が既に定住促進策を実施(東京島しょ地域は約半数)
- ・自治体のうち約9割が継続的居住を希望しているのに対し、移住希望者の継続的居住希望は約3割にとどまる
- ・東京島しょ地域への来島者の約5割が島暮らしを考えたことがある

3 東京島しょ地域における移住(定住)促進の可能性

短中期や一時的な居住を含めて「定住」の定義を広くとらえたうえで、東京島しょ地域の町村が定住促進策を実施する際の施策モデルを、ターゲット別に3パターン提示しました。「◎」は特に優先すべき施策

①「単身若者」×「短中期の滞在」を対象とした施策モデル

分野	ライフステージ			居住継続性			ハードルの詳細	取組
	単身	ファミリー	リタイア	短中期	一時的	継続		
居住・生活	◎			○	○		●単身者向け住宅の整備 ●結婚・出産支援の整備	●既存住宅をシェアハウスとして利用 ●継続的居住に向けた婚活支援
就労・雇用	◎	○		○	○	○	●若手を育成する環境の整備	●新規就農(漁業)支援・ワーキングホリデーの実施 ●若者の志向に合わせた求人情報等の提供

②「ファミリー層」×「一時的な移住」を対象とした施策モデル

分野	ライフステージ			居住継続性			ハードルの詳細	取組
	単身	ファミリー	リタイア	短中期	一時的	継続		
居住・生活	○	◎	○	○	○	○	●賃貸可能な物件情報の不足	●借りられる物件情報の提供
就労・雇用	○	◎		○	○	○	●収入の安定性の確保	●収入が確保できるインターン事業
教育・文化		◎		○	○		●島の教育事情への不安	●島ならではの教育環境の整備
医療・福祉		◎	◎	○	○	○	●島の医療体制への不安	●子どもの医療体制についての情報提供

③「リタイア層」×「継続的な居住」を対象とした施策モデル

分野	ライフステージ			居住継続性			ハードルの詳細	取組
	単身	ファミリー	リタイア	短中期	一時的	継続		
居住・生活	○	○	◎			◎	●島暮らしへの適応	●島のならわしや風習についての情報提供
			◎			◎	●余暇時間の有効活用	●余暇時間を過ごす場の提供
	○	◎	◎			◎	●生活コストへの不安	●生活費の試算を提供
医療・福祉	○	◎	◎	○	○	○	●島の医療体制への不安	●離島医療に関する情報提供

調査研究報告書の活用に関するアンケート調査結果報告

当調査会は、毎年度、各種の調査研究報告書を作成し、多摩・島しょ地域市町村等に配布するとともに、ホームページ上 (<http://www.tama-100.or.jp/>) でも広く公開しています。

この報告書が自治体の現場でどのように活用されているのかについて把握し、今後の調査研究に役立てるため、平成27年7月に多摩・島しょ地域の39市町村を対象としたアンケート調査を実施しました。

○ 9割以上の市町村で事業に役立てられています

調査研究結果の活用状況を見ると、「毎年度、事業実施の参考にしていく」、「その年の調査研究テーマによって、個別の行政課題と合致する場合には参考にしていく」を合わせ、計37団体(94.9%)が調査研究結果を事業に活用していると回答しています(図1参照)。

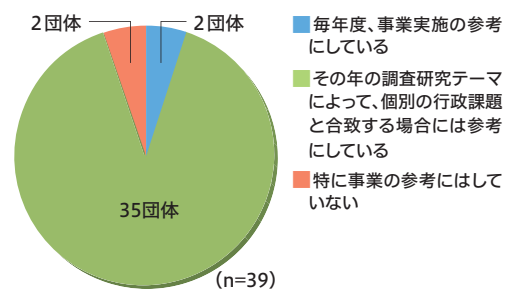
○ 検討の初期段階から報告書が活用されています

平成26年度1年間の活用事例をみると、「基礎的な情報、データ等として参考にした」という回答が、20団体(51.3%)を占めています(図2参照)。

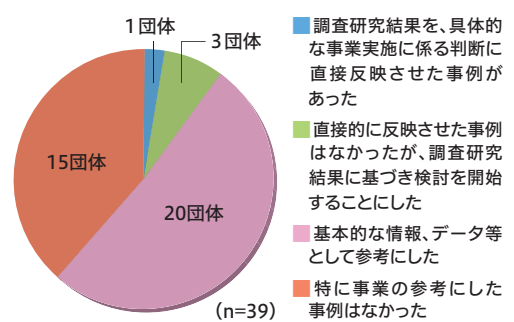
多く活用された報告書の一例としては、「自治体の空き家対策に関する調査研究報告書(平成25年度発行)」が、特別措置法の全面施行(平成27年5月)を見据えた課題整理などに役立てられています。当調査会は、近い未来に大きな課題となるようなテーマを選定し調査研究を行っていますが、全体的に近年発行の報告書が検討の初期段階で利用されていることが回答から伺えます。

当調査会では、今回の調査結果を踏まえつつ、引き続き市町村行政に資する調査研究に取り組み、その成果の還元を図っていきます。

(図1) 調査研究結果の活用



(図2) 平成26年度の活用事例



編集後記

- 平成28年(2016年)あけましておめでとうございます。

当調査会は、多摩・島しょ39の自治体の総意に基づき、広域的かつ共通する課題を調査・研究し、行政施策に反映させていくため、昭和61年(1986年)に設置されました。今年で創立30周年となります。

今後も、都内市町村のシンクタンクとして調査研究やシンポジウム、市町村共同事業、広域市民活動支援など様々な事業を通じて多摩・島しょ地域のお役に立てるよう努めて参ります。

- さて、いよいよオリンピック・パラリンピックイヤーです。南米初のブラジルリオデジャネイロ大会が8・9月に開催されます。その後は、日本全体が4年後の2020年東京大会に向けて、本格的に走り始めることとなります。

52年前の東京オリンピックのように基盤整備が開催年(2020年)だけを目指して行われることはありませんが、将来を見据えた成熟社会の形成とレガシー(遺産)づくりの礎を、それぞれの地域が考え、推進する千載一遇の機会です。

- ひとつ例を挙げます。世界の都市のなかで、東京は治安や衛生面での安全性は高いものの、地震・津波・洪水などの自然災害についてはリスクが高いとされています。

また、昨年はパリでの大規模テロや、ロシア航空機のテロによる爆破・墜落が起こるなど、世界をゆるがす大きな事件が相次ぎました。

安心・安全を誇る日本にとっても、他人事とは思えない脅威が存在する時代になっています。

- これらの危機への備えを地域の力で進めることもレガシーとなり得ます。

具体的に言えば、東日本大震災の際に、生徒が自主的に避難して被害者を出さなかった「釜石の奇跡」に代表される被害軽減行動の教訓を共有・蓄積したり、テロ・犯罪を防ぐための官民パートナーシップによる地域パトロール・通報・不審者情報の提供を行うなど、安心・安全な地域社会づくりへの取組があります。

これらを推進し、住民の一人ひとりができることを積極的に行い、地域の安全を高め、ゆるぎない風土をつくることです。

- 一人ひとりが助けられる側から助ける側へ、守られる側から守る側へ変わっていくしか、社会をより良くしていく方法はありません。

- 微力ですが、今年が地域の安心・安全をより高める年となるよう心掛けたいと考えています。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

(M.N)





とっておきスポット

第16回 日野市

“ココ”
ご存じ
ですか?

日野市といえば、新選組を連想するかもしれないけど、
今回はわたげのボクが「京王百草園」と「小島善太郎記念館」を紹介するよ。

京王百草園

※表紙でも紹介してるよ!

多摩丘陵の高台にあるこの場所、江戸時代は松連寺という寺院だったんだ。風光明媚な場所として「江戸名所図会」などに紹介されてるんだ。

明治時代には、若山牧水、北村透谷、徳富蘆花などの文人も訪れてるんだよ。特に牧水は、ここで失恋の歌「独り歌へる」を作り、牧水の長男・旅人氏設計の歌碑が園内の緑の中に佇んでるんだ。梅の開花の季節には約50種500本の梅たちが咲き競い、園内はとても華やかな雰囲気に包まれるよ。



小島善太郎記念館

明治25年生まれの小島善太郎は、不遇な少年時代を過ごしたんだって。それでも画家を志し、大正11年にフランスへ留学、帰国後は日本洋画界に新風を巻き起こしたんだよ。その後は日本洋画界の重鎮として意欲的に創作を続け、91歳で他界したんだ。

善太郎は昭和46年に百草にアトリエを構えて晩年を過ごし、百草園とその周辺の自然を題材とした作品を多く残したんだ。住まい・アトリエと残された作品などが、平成25年に日野市に寄贈され一般公開されてるよ。みなさんもぜひ、ふわっと行ってみて!



【現地案内】(両施設とも駐車場はありません。百草園駅から百草園までの途中に急坂があります。)

京王百草園 日野市百草560 TEL 042-591-3478

- 京王線百草園駅下車徒歩10分または聖蹟桜ヶ丘駅・高幡不動駅からタクシー10分
- 営業時間 9:00~17:00(11月・12月は16:30まで)
- 定休日 水曜日(祝日の場合は翌日)および年末年始(催事期間中は無休)
- 入園料 大人300円、小人100円

小島善太郎記念館 日野市百草776 TEL 042-591-7775(開館日のみ)

- 京王線百草園駅下車徒歩20分、聖蹟桜ヶ丘駅・高幡不動駅から京王バス三沢台路線「南百草」「百草園住宅東」バス停から徒歩5分または聖蹟桜ヶ丘駅・高幡不動駅からタクシー10分
- 開館日 年末年始を除く土曜日・日曜日・祝日
- 開館時間 10:00~16:00(3月~9月は17:00まで)
- 入館料 大人300円、小・中学生100円
- 平日の問合せ先 日野市文化スポーツ課 TEL 042-585-1111(代表)

【情報・写真提供】日野市企画部市長公室広報担当 TEL 042-585-1111(代表)



【発行日】平成28年1月1日

【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会

【責任者】岸上隆

〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>



再生紙を使用しています。